

日本人大学生の留学準備のための英語授業の取り組み

大阪大学日本語日本文化センター 非常勤講師

丹羽依津江 (niwaitstue@gmail.com)

授業概要

- 対象学生（学習者レベル 3）
 - 私立大学 文学部英語英米文学科 主に1年生（約60名）
 - 3～4年次に留学予定
- 科目としての位置づけ
 - 必修科目（英米文化・文学入門、英語学入門、基礎演習）
 - 選択必修科目：英語英米文化・文学、英語学、リーディング・ライティング・スピーキング、その他（English in Japan、ボキャブラリービルディング、時事英語）
- コース目標
 - 自分の国、文化、母語について質問されたときに答えられるよう、日本、日本語、日本文化についてのリーディング、ディスカッション、講義を通して留学準備をする。

授業内活動

- リーディング課題
 - 日本、日本語、日本文化について外国人は何を疑問に思い、何が違うと思うのかを考えるきっかけを持つ。またアメリカ人留学生の目を通して描かれた日本についての本を読み、自分にとって当たり前であることが、異なる言語や文化を持つ人にとっては当たり前ではないということを知る。
 - Eldwood, Kate (2004) *Takes and Mistakes*, NHK Shuppan
 - Eldwood, Kate (2007) *Oops and Goofs*, NHK Shuppan
- 講義
 - リーディングと同じテーマの講義を英語で行い、日本、日本語、日本文化を英語で話す際に必要な語彙・表現を学ぶ。
- 授業内ワーク
 - 授業中に個人・ペア・グループワークを行い、学んだ語彙・表現を用いてアウトプットのトレーニングを行う。（会話文作成、作文、ワークシートなど）
- 1分作文（前期）

- テーマに関する1分程度の作文を書く。
- 1分音読（後期）
 - 主に日本文化に関する1分程度のスピーチ原稿の音読。アクセント、イントネーション、ポーズ、強調などに注意し、ペアで音読練習をする。

テーマ

前期	後期
1. Course description	16. Quantifiers
2. Seasons	17. Confusing expressions
3. Types of people	18. Proverbs
4. Food	19. Faces
5. Kimono	20. Water
6. Holidays	21. Cooking
7. Taboos	22. Colors
8. School life	23. Compliments
9. Fairly Tales	24. Age
10. Bathing	25. Winter holidays
11. Gestures	26. Cultural events
12. Sickness	27. Romance
13. Presents	28. Teaching Japanese
14. Presentations 1	29. Presentations 1
15. Presentations 2	30. Presentations 2

形式的評価

- リーディング課題に関する読解クイズ
 - 5問、英語で質問→できるだけ英語で答える
- 授業中のワーク/作文課題
- プレゼンテーションのプログレスレポート
 - テーマ
 - アウトライン
 - rough draft (minimum1回)

テーマ
留学先で、自分の大学、そして日本について話そう
目標
学習者レベル 3
コミュニケーション能力指標
<p>(自分と身近な人びと)</p> <p>3-b. 好きなことやもの・人について、その理由を含めて、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-c. 自分の経験について、語り合ったり、書いて伝えたりできる。</p> <p>(学校生活)</p> <p>3-c. 学校の特徴について、口頭で紹介しあうことができる。</p> <p>3-g. 学校のなかを、設備の配置などを説明しながら案内することができる。</p> <p>(地域社会と世界)</p> <p>3-c. 日本や相手の国の人びとの、暮らしや生活習慣について、口頭または文章で紹介しあうことができる。</p>
学習シナリオ
<p><場面状況></p> <p>英語英米文学科の1年生の授業です。日本や日本語について英語で話せるようになることで、留学先で自ら話題を提供し、多くの人と交流するきっかけが持てるようになりましょう。</p> <p><活動の流れ></p> <p>◎前期プレゼンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 2～3人のグループに分かれて、外国人留学生に紹介したい大学内の場所、物などを選ぶ。 各グループ内で役割を決める。(スケジュール管理、データ管理、連絡係り等) 各グループでプレゼンテーションまでのスケジュールを決める。 プレゼンテーションのアウトラインを作成する。 写真、動画等を撮影する。 ドラフトを用意し、読む練習をする。 授業内でプレゼンテーションを行う。学生同士も自己評価、相互評価を行う。 <p>◎後期プレゼンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> 2人のペアに分かれて、日本または日本語にまつわるテーマを選ぶ。 2～5. は同じ 小テストを用意する。 授業内でプレゼンテーションと小テストを行う。学生同士も自己評価、相互評価を行う。
総括的評価
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったプレゼンテーションが用意できているか。 ・分かりやすい原稿が書けたか。 ・発表後の自己評価、相互評価、小テスト(後期のみ)

3 × 3 + 3 分析

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・発表テーマに必要な語彙や表現 ・プレゼンテーションをする際に必要な表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の大学、日本について知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が日本について、どのような興味を持っているかを知る
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・発表テーマをオーディエンスに伝えることができる ・発表を聞いて理解できる ・アクセント・イントネーション、またポーズを意識して、聞き取りやすい話し方ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の大学、日本について調べ、発表をまとめることで、自分を取り巻く環境を再認識することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア／グループ内で自分の役割を意識し、協力してプレゼンテーションを行うことができる ・リサーチや発表に、インターネットやプレゼンテーションソフトを使用することができる
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・用意した小テストに正答してもらうために、分かりやすく説明することができる 	<ul style="list-style-type: none"> (・留学先で自分の大学や日本について話す) 	
三連携	<p>連携1：自分の通う大学や、日本について知る（関心）</p> <p>連携2：英語文法・語彙、授業中の読解教材等</p> <p>連携3：大学構内の人、留学生、（留学先で出会う人々）</p>		

目標分解表（前期）

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
留学生が何に興味を持つかを考える	紹介したい場所、物を選ぶ	グループで一つのテーマを決める	大学についての プレゼンテーション
紹介したい場所、物を選び、理由をまとめる			
一つのテーマに絞る方法を考える	グループで話し合う		
グループメンバーに伝える			
カメラ等、機器を操作し、写真等を集める	スライドを作る		
構成を考え、写真を選択する			
ソフトを操作し、スライドを作る			
情報を集める	スクリプトを書く	スライド&スクリプトを作る	
語彙・表現の学習			
段落構成を考え、スクリプトを書く			
下書きを提出し、添削後書き直す			
各担当者を決めて、情報をシェアする	スケジュールを管理する		
アクセント、イントネーションをチェックする	プレゼンテーションの練習をする	プレゼンテーションを行う	
話すスピード、ポーズ、声の大きさ等を考慮する			
スライドに合わせて話す			
評価項目を理解する	プレゼンテーション後、自己評価とメンバー間評価を行う		
自分のパフォーマンスを振り返る			
メンバーのパフォーマンスを振り返る			
[総括的評価] テーマに沿ったプレゼンテーションが用意できているか。 ・分かりやすい原稿が書けたか。 ・発表後の自己評価、相互評価			

目標分解表（後期）

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
外国人が何に興味を持つかを考える	授業テーマを選ぶ	授業の内容（テーマ）を決める	日本、日本語、日本文化に関するミニ授業
授業テーマを選び、理由をまとめる			
一つのテーマに絞る方法を考える	グループで話し合う		
グループメンバーに伝える			
情報を分かりやすくまとめる	授業用のスライドを作る		
写真、図、絵、動画等を用意する			
ソフトを操作し、スライドを作る			
語彙・表現の学習	授業案を作る	ミニ授業の準備をする	
情報を集めて、整理する			
伝わりやすい文、分かりやすい文にする			
小テストに答えられるか確認する			
疑問文を作る	小テストを作る		
アクセント、イントネーションをチェックする	ミニ授業の練習をする	ミニ授業を行う	
話すスピード、ポーズ、声の大きさ等を考慮する			
スライドに合わせて話す			
評価項目を理解する	ミニ授業後、自己評価とメンバー間評価を行う		
自分のパフォーマンスを振り返る			
メンバーのパフォーマンスを振り返る			
小テストの答えをチェックする			
[総括的評価] テーマに沿ったプレゼンテーションが用意できているか。 ・ 分かりやすい原稿が書けたか。 ・ 発表後の自己評価、相互評価、小テスト			

ループリック (後期)

評価基準	目標以上に達成 (4点)	目標を達成 (3点)	目標達成まであと少し (2点)	目標達成まで努力が必要 (1点)
ナレーションの英語	スライドにあったナレーションであり、表現も豊かで、説明が分かりやすい。	スライドにあったナレーションであり、説明が分かりやすい。	スライドと説明に少し食い違いが見られるが、説明はおおむね分かる。	スライドと説明があっておらず、説明が分かりにくい。
スライドの内容と見やすさ	テーマにあった内容で、構成のバランスが良く、非常に見やすい。発表を非常に分かりやすいものになっている。	テーマにあった内容で、構成のバランスが良く、見やすい。発表を分かりやすいものになっている。	テーマにあった内容だが、構成のバランスが少し分かりづらい。発表を分かりやすいものになっている。	内容がテーマにあっておらず、分かりにくい。発表の内容を助けるものとなっていない。
英語の表現①	分かりやすい発音ができている。はっきりした大きな声で、聞き手に配慮したスピードで話している。	分かりやすい発音を心がけている。大きな声で、聞き取りやすいスピードで話している。	分かりやすい発音をしようという努力が見られる。もう少し大きな声で、聞き手に配慮したスピードであることが望ましい。	発音の正確さに欠け、分かりにくい。声が小さい、または話すスピードが速く、聞き取りにくい。
英語の表現②	個々の語のアクセントが正しく発音できている。また文中の区切り、強調などがはっきりしており、とても分かりやすい。	個々の語のアクセントの正確さには少し欠ける。文中の区切り、強調などには工夫が見られ、分かりやすい。	個々の語のアクセントの正確さは欠けるが、文中の区切りや強調に対する努力は見られる。	個々の語のアクセントや、文中のポーズなどの正確さに欠ける。文中の区切りや強調など、聞きやすさへの配慮が見られない。
準備作業	テーマや構成の決定、動画・スライド作成、編集など、全ての過程において、メンバーと協力して作業し、提出期限を守ることができた。	テーマや構成の決定、動画・スライドの作成、編集など、メンバーと協力して作業し、おおむね提出期限を守ることができた。	テーマや構成の決定、動画・スライドの作成など、メンバーと協力して作業ができず、提出期限を守れなかったものが2つ以上あった。	テーマや構成の決定、動画・スライドの作成など、メンバーと協力しながら作業が全くできなかった。提出期限が守れなかったものが3つ以上あった。